

令和3年度第2回群馬県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会 開催概要

1 開催期間 令和4年2月9日（水）～令和4年3月1日（火）

2 開催方式 持ち回り

3 委 員 別添のとおり。

4 議 題

(1) 令和3年度事業実施状況について

(2) 令和4年度事業計画について

(3) その他

5 結 果

主な意見は以下のとおり。

**令和3年度事業実施状況について**

・コロナ禍での事業運営には苦労が多いことと拝察するが、しっかりとした目標管理のもと適切に事業が遂行されているものと判断できる。令和2年度の同時期よりも実績値に改善が見られる事業もあり、群馬職業能力開発促進センターの社会情勢の変化に対する適応力の高さも垣間見ることができる。

・令和3年度事業実施状況については、2年目となったコロナ禍にあって十二分に対応いただいたと認識している。

**令和4年度事業計画について**

・中小企業等のDX対応など、ニーズに即した事業に十分なリソースが配分されることを期待している。

・DX人材の育成は各企業における課題であることから、生産性向上支援訓練の「DX対応コース」の選定・拡充は非常に良い支援であると考え。令和4年度からの取り組みなのでなるべく広く周知をお願いしたい。

・中小企業においてもデジタル化とデータの利活用による一層の生産性向上やグリーン社会への転換が強く求められている中で、DX人材の育成は時宜を得た事業と思う。さらに製

造ラインの関係のみならず、事務系の事業展開も必要ではないか。

- ・商工会議所では生産性向上のための DX の推進を重要課題と位置付けている。今後も DX 関連のコースの積極的な開講と周知をお願いしたい。

- ・コロナ禍で社会全体のデジタル化が一気に加速し、中小企業等の経営課題として大きく浮上したのが「デジタル化」。コロナ禍以前から人手不足や生産性の向上が大きな課題であり、昨今の経営において「IT」の活用は欠かせないことから、「DX に対応するための人材育成に向けたコース」について、関係機関とよく連携して目標を達成するよう、特に注力して頂きたい。

#### その他

- ・3年目を迎え長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原材料の不足、価格高騰等により多くの事業者は先行きに不安を持っており、今後の資金繰りや雇用への悪影響が強く懸念される。(本県基幹産業である自動車の生産調整や、雇用調整助成金の特例終了、社会保険制度見直し、最低賃金の大幅引き上げ等。)

雇用情勢の悪化への不安もあることから、引き続き労働局との連携を密にし、職業訓練の充実をお願いする。

別添

令和3年度第2回群馬県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (3名)	飯島 明宏 (会長)	高崎経済大学地域政策学部 教授
	斉藤 誠	株式会社上毛新聞社 取締役 読者局長
	鈴木 良幸	一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会 会長
労働者代表 (2名)	山村 康郎	日本労働組合総連合会群馬県連合会 副会長
	越澤 恭行	日本労働組合総連合会群馬県連合会 高崎地域協議会 議長
中小企業等代表 (4名)	村井 一雄	太田機械金属工業協同組合 副理事長
	小林 雄二郎	群馬県中小企業団体中央会 専務理事
	坂庭 秀	一般社団法人群馬県商工会議所連合会 専務理事
	樋口 努	群馬県商工会連合会 専務理事
行政機関 (3名)	丸山 康治	群馬県産業経済部 労働政策課 産業人材育成室長
	瀧本 和正	高崎市商工観光部 産業政策課長
	村上 康	群馬労働局 職業安定部長